

平成 28 年度 対日理解促進交流プログラム
日本語学習青年グループ招聘プログラム（7 月 5 日～12 日）
（対象国：ロシア連邦、テーマ：日本文化）の記録

1. プログラム概要

7 月 5 日から 12 日まで、日本政府がロシアに 6 か所設置した日本センターや民間の日本語学校で日本語を学んでいる 20 代から 30 代の青年 20 名が来日しました。日本センターでは、日露経済関係の分野で活躍することが期待される人材を発掘し、育成するため、経営関連講座・日本語講座等様々な技術支援を行うほか、日露経済交流促進のための事業を実施しています。

一行は、対日理解促進を目的として東京と岩手を訪れ、岩手大学をはじめ日本の学生との交流を行ったほか、盛岡青年会議所の協力を得て、地方再生と地域間交流の観点から盛岡市内近郊の地元の民間企業や官民複合施設を訪問しました。また、陸前高田市では、ロシアでは報道の少ない震災から 5 年目の復興状況を視察しました。東京では、外務省を表敬訪問したほか、日本語学校で日本における日本語教育を見聞しました。小グループに分かれて日本人学生と都内を散策し、交流を深めました。

このプログラムを通じ、ロシアの青年が日本に対する理解を深め、日露間の友好関係を構築する一助となってくれることが期待されます。

2. 日程

7 月 5 日（火曜日）	成田空港より入国
7 月 6 日（水曜日）	都内視察、外務省訪問（オリエンテーション）、盛岡へ移動
7 月 7 日（木曜日）	岩手大学との交流 さんさ踊り体験（盛岡八幡宮）
7 月 8 日（金曜日）	盛岡青年会議所との交流 盛岡市内近郊の民間企業、官民複合施設（オガール紫波）視察
7 月 9 日（土曜日）	震災被災地（陸前高田市）視察、東京へ移動
7 月 10 日（日曜日）	都内視察、日本人学生との交流
7 月 11 日（月曜日）	日本語学校訪問、外務省訪問（報告会）
7 月 12 日（火曜日）	成田空港より帰国

3. プログラム記録写真



7 月 7 日 岩手大学で授業体験



7 月 7 日 岩手大学さんさ踊りサークル活動に参加

	
7月7日 岩手大学学生との懇親会	7月8日 訪問先企業でフォークリフトに試乗
	
7月8日 青果市場視察	7月8日 官民複合施設「オガール紫波」でのブリーフィング
	
7月10日 日本人学生との交流（都内視察）	

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ユジノサハリンスク市 エンジニア（女性）

良い印象ばかりで、帰りたくない。日本で新しい友人たち（ロシア人、日本人両方）ができた。必ず交流を続けたい。日本人学生との交流の時間がもっとあればよいと思う。

◆ウラジオストク市 公務員（男性）

プログラムは大変印象に残った。夢を実現し、美しさに触れる機会を与えていただいたことに対し心から感謝したい。私はこれから一生懸命日本語の勉強を続け、また、友人知人が日本の文化・芸術そして日本全体に興味を抱くように働きかけ続けます！

◆サンクトペテルブルク市 保険会社勤務（男性）

プログラムはとても気に入った。日本と日本文化に対する私の愛情が何倍にもなった。

◆サンクトペテルブルク市 英語通訳ガイド（女性）

すべてが高いレベルで準備されていた。どこでも温かく迎えてくれて、すべてを話してくれたし、すべてを見せてくれた。日本の人たちが自分の経験を話してくれたのは、とても役に立った。

◆サンクトペテルブルク市 図書館システム情報管理（女性）

岩手県とか、日本人大学生との交流とか、観光地巡りではない部分が面白かった。

◆サンクトペテルブルク市 保険会社勤務（女性）

すべてが理想的だった。食べなれていない食べ物が出たときは、いつも気にいるとは限らなかったが。朝はなるべく早く起き、夜はなるべく長く外を散歩していたかったので、睡眠不足だった！東京よりも田舎のほうが入った。どこもとても清潔なのだが、ごみ箱を見つけるのに苦労した。一番うれしかったのは、日本語を実際に使う機会が多かったこと！これはとても貴重な体験だった。

◆モスクワ市 設計技師（女性）

遠い北の岩手県まで行かせてくれてありがとう。2011年の震災の後の状況について、実際に被害にあった人から聞くことができたのは、とても意味があった。

5. 受入れ側の感想

◆ロシア人参加者との交流プログラム（都内視察）に参加した日本人女子学生

限られた時間ではあったが、グループのメンバーと終始行動を共にしていたため、お互いのことを話す時間を十分にとることができ大変良かった。私たちの班の日本人はロシア語を話すことができなかったが、ロシア人の方の日本語が上手で十分にコミュニケーションをとることができた。今回のように人的交流を目的としたプログラムでは、訪日するロシア人の方々はロシア語を話すことができる日本人と交流することが比較的多いことが考えられ、私たちのようにほとんどロシア語を知らない日本人と交流することは貴重な機会であるかもしれないと感じた。また、限られた時間では難しいかもしれないが、他のグループの人とも交流する機会があれば、より多くの学生と話し、様々な日本人がいることを知ることができて良いと思う。

◆ロシア人参加者との交流プログラム（都内視察）に参加した日本人男子学生

初めてロシア人とロシア語で話すということで最初は心配でしたが、蓋を開けてみれば、楽しく話しながら観光することができた。日本人側も充実した一日を過ごせましたし、ロシア人側も退屈することなく日本を体験してくれたのではないかなと思う。

◆岩手大学教員

ロシア語を学習する一年生にとって、普段勉強しているロシア語で活きたコミュニケーションをとる最初の機会となり、よい刺激になったようだ。

6. 参加者の対外発信



ペトルチク スタニスラフ
2016年7月19日

Восемь лет, и на пустыре, отведенном под свалку снега, вырос практически целый город - проект муниципально-частного партнерства «Ogal Shiwa». Коттеджный поселок американского типа; огромная библиотека, в которой играет музыка; имеются две звукозаписывающие студии, ринги для борьбы; зал для игры в волейбол, продуманный до мелочей (например, освещение на потолке спроектировано так, чтобы не слепить игроков во время подачи) и многое другое - все это свидетельство прогрессивного взгляда руководителя данного проекта г-на Masanobu Okazaki. Находчивость поражает: чтобы обойти запреты на продажу напитков и закусок в парке, парк назван площадью, а для поддержания города в чистоте эта обязанность возлагается на арендаторов коммерческой недвижимости. «Ogal Shiwa» выглядит образцом своего рода эволюции привычного образа Японии.



◆サントペテルブルク市 保険会社勤務（男性）
7月19日 官民複合施設「オガール紫波」について発信
官民共同プロジェクト「オガール紫波」は8年かけて雪が堆積する荒地から完全な街になるまで成長した。アメリカンスタイルのコテージには、巨大な図書館があり、音楽が流れる。録音スタジオや道場、バレーボールコートも備えられ、プレーヤーが眩しくないような照明の角度に至るまで細かい配慮がされている。飲食料品の販売ができるよう公園は広場と名付けられ、テナントに清掃を義務付けるなどの工夫がなされるなど、日本の見慣れたイメージの進化の手本ともいえる。
(SNS: v kontakte に掲載)



ペトルチク スタニスラフ
2016年7月23日

Меньше чем за пол века когда-то созданный под артиллерийские укрепления искусственный остров стал настоящим центром развлечений в Токийском заливе. Одайба вобрала в себя все, что можно пожелать: пляж, копию Статуи свободы, выставочный комплекс Toyota, который не обойти за целый день, статую робота, футуристическое здание штаб-квартиры Fuji TV, со смотровой площадкой в виде шара, парк аттракционов, огромное количество магазинов, ресторанов и многого другого. С колеса обозрения открывается роскошный вид на залив и на весь район в целом. К острову ведет монорельс Yurikamome, полностью автоматизированный, без машиниста.



◆サントペテルブルク市 保険会社勤務（男性）
7月23日 日本人学生との交流、お台場について発信
江戸時代に砲台として建設されたお台場は、今や東京湾の娯楽の中心となり、海浜公園や自由の女神像、トヨタのショールーム、ロボット像（ガンダム）、フジテレビ本社の未来的な建物など1日では回り足りないほどで、すべてが吸い込まれているようだ。球形の展望台からはテーマパークや膨大な数の店やレストランも見える。観覧車からは東京湾や街の全景が見えて素晴らしい。お台場へはゆりかもめが走っており、完全に自動化されていて運転士もいない。(SNS: v kontakte に掲載)



ニコラエヴァ エカテリーナ
2016年7月18日

А теперь видео!! Народ, снимать я не умею, так что сорри- что есть, то есть... Эти три видео относятся к университету Ивате. Одни из самых ярких впечатлений!



Элемева Экаテリーна
2016年7月16日

Часто говорят, что Япония - страна контрастов. Это на самом деле так. И впечатления от неё - это калейдоскоп эмоций. Только утром мы пребывали в легкой эйфории от очередного посещения горячего источника, как всего через пару часов женская половина нашей группы с трудом сдерживала слёзы. Посещение района Рикудзан Таката, пострадавшего от Великого землетрясения и цунами 2011 года, вернула нас к суровым реалиям жизни на Острове в сейсмоопасной зоне. Тот факт, что страна, замечательная во всех отношениях, вынуждена нести это бремя, постоянно быть готовой к новым ударам, не может оставить равнодушным... Хочется поблагодарить нашего замечательного проводника, он поделился с нами не только историей прошлого (сам он также много потерял в этой трагедии), но и своими опасениями за будущее жителей этих территорий.



◆サンクトペテルブルク市 エンジニア（女性）
ビデオを紹介したいところですがうまく撮れなかったのここにあるものだけです。このビデオは岩手大学で撮ったものです。とても鮮明な印象を受けた場所の一つです。（SNS: v kontakte に掲載）

◆ニジニ・ノヴゴロド市 保険会社勤務（女性）
日本はコントラストの国だとよく言われますが、それは本当です。日本から受ける印象は、感情の万華鏡です。
今朝、温泉に浸かって上機嫌だったのに、わずか2時間後には私たちのグループの女性は涙を堪えることができない程でした。2011年に大震災と津波の被害に遭った陸前高田の訪問によって、私たちは地震危険地帯にある国の厳しい現実に戻されました。すべての面で素晴らしいこの国がこの重荷を背負っていかねばならず、常に新たな地震に備えていなくてはならないという事実には無関心ではられません...
過去の歴史だけでなく、この地域の住民の将来の不安についても話してくれたすばらしいガイドさん（ご本人もこの惨事で多くを失った）に感謝したい。（SNS: v kontakte に掲載）

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

- ・日本で見たことを詳しく述べ、写真資料も添えた、マスコミの取材（記事）。
- ・Facebook に情報を載せ、日本についてのプレゼンテーションを行う。
- ・日本の文化や今回の日本滞在についての情報を Facebook に載せる。
- ・SNS、WhatsApp、実際に話をする、等。
- ・企業の人々と実際に会う場合は直接話をする。また、セミナーでも話をする。
- ・外国語学習グループへの情報提供。
- ・SNS への情報の掲載、日本センターで日本語を勉強している下級クラス（学生）に対するプレゼン。感じたことをみんなに伝えたいし、後でそのときのことをもう一度思い出したいので、私も他の参加者も滞在期間中に写真、ビデオをたくさん撮った。そこで、私はプレゼン・ビデオを編集して、日本に興味を持っている友人たちに見せたり、SNS にアップしたりしたい。
- ・大学の教師及び学生の間で、日本及びこの交流プログラムについての情報を広める。
- ・様々なところで出会う人々に日本滞在について語る。友人、知人にお土産をあげる。知人たちと一緒に日本旅行に行きたい気持ちにさせる。
- ・いずれは、日本についての記事を書きたいし、質の高い翻訳ができるようになりたい。また、両国の文化交流がより緊密になることを望んでいる。例えば、ロシアの人々が演歌のような芸術ジャンルについて知るようになれば良いと思う。プランが実現することを大変希望している。
- ・日本の法律の研究、観光ルートの作成も含めた、日本観光の特色の研究。マスコミを通じた日本についての情報の発信。